

<目次>

◇ 目次・参加者へのお知らせ	1
◇ 会長挨拶:2011 バレーボールミーティング開催にあたって	2
◇ 会場案内図	3
◇ 2011 バレーボールミーティング 日程	4
◇ シンポジウム レジюме	5
◇ 日本バレーボール学会 2009～2011 年度役員構成	20

<参加者へのお知らせ>

- 1) ミーティング参加者は事前登録、当日登録ともに参加受付を行ってください。受付はエントランスホールにて行います。受付では、受付、ミーティング参加費の支払い、ネームカード及び領収書の受け取りを行ってください。事前登録を行い、既に大会参加費をお支払いの方はネームカードと領収書を受け取ってください。ネームホルダーは所属・氏名をご記入いただき、会場内において必ず着用してください。

カテゴリー	参加費
学会会員・学生	1,000 円
一般参加	1,500 円

※ 学生（大学生および大学院生）として参加申し込みされた方は、当日、受付で学生証の提示をお願いします。東海学連所属チームの学生、高校生以下は無料（プログラムも配布）です。

- 2) 日本バレーボール学会の年会費を未払いの方は、年会費をお支払いになり、領収書をお受け取りください。
- 3) 学内の建物内は、すべて禁煙となっています。喫煙される方は定められた喫煙所をご利用ください。
- 4) 会場は、共通講義棟南（シンポジウム）、体育館（オンコートレクチャー）にて行います。
- 5) 昼食は、学内食堂が営業しております。会場案内図をご参照ください。

〈会長挨拶 :日本バレーボール学会第 15 回記念大会開催にあたって〉



日本バレーボール学会
会長 遠藤 俊郎(大東文化大学)

正に大暑の節氣を迎える中、「2011 バレーボールミーティング」がここ名城大学天白キャンパスを会場として開催されますことは、日本バレーボール学会会長としてこの上ない光栄の極みであり、開催に向けて尽力を頂いた関係各位には衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のように 2012 年はオリンピックイヤーであり、ロンドンオリンピックが開催されます。前回の北京オリンピック時には、バレーボール競技においては、全日本男子チームが 1992 年のバルセロナオリンピック以来 16 年振りに出場権を獲得し、久しぶりに男女揃ってのオリンピック参加が復活し大きな期待が寄せられました。ロンドンオリンピックに関しても、本年 11 月に我が国において開催予定であるワールドカップが最初のオリンピック出場権獲得のチャンスであります。現在日本代表男女チームともにワールドリーグ、ワールドグランプリ等の大会を通じて、2011 ワールドカップにおける 2012 年ロンドンオリンピックへのキップ奪取に向けた強化を図っているところだと思います。

そのような合宿や試合といった過密な強化スケジュールの合間を縫って、本ミーティングのメイン講師として現在日本代表男子チームのトレーナーをお勤めの大石博暁氏や有地省吾氏をお迎えできたことは本学会にとりまして大変光栄なことでもありますし、それこそ本ミーティングのテーマであります「トップチームのフィジカル・トレーニング-体幹・肩甲帯・股関節を中心に-」に相応しい講師陣であると確信しております。

特に大石氏には、日本を含めた世界のトップチームのフィジカル・トレーニングの現状とその実際に関して生の声をお聞かせいただけるものと期待しております。また、日本代表男子チームの最新情報の一端もご披露いただければ、一バレーボール人としては大変興味深いところです。

さらに、江藤直美氏は、現在は指導者として大学バレーボールチームを指導されていますが、江藤氏がかって日本代表選手として大活躍したことは日本バレーボール学会員誰もの記憶に残っている所かと思えます。江藤氏には、自身の選手としての現役時代の経験から、さらには現在の指導者としての経験から、トップチームのフィジカル・トレーニングについてご発言頂けるものと思えます。

本ミーティングに参加された方々には必ずや示唆に富んだミーティングになるものと確信しておりますので、是非積極的にディスカッションに参加して頂き、今後につながる何かしらの成果物をお持ち帰り頂けるようお願い申し上げます。

結びに当たり、多大なるご支援、ご協力を賜りました名城大学当局を始め、ご後援いただきました東海大学バレーボール連盟、愛知県バレーボール協会の関係各位には重ねて厚く御礼を申し上げ、会長のご挨拶といたします。

<会場案内図>



【名城大学食堂案内】

- タワー75
 - 15F 展望レストラン「スカイ・クルーズ」
 - 1F 食堂「カーサ」
 - 1F コンビニ「スクエア」
- 共通講義等N B
 - 1F 食堂「名城食堂」
 - 1F 売店
- 校友会館
 - 1F 食堂「ベル」



<2011 バレーボールミーティング 日程>

2011年7月9日(土) 場所 共通講義棟南 体育館 (会場案内図参照)

09:30～ **受付開始** 場所 共通講義棟南 1階

10:00～10:10 **開会の挨拶**

柏森 康雄 (日本バレーボール学会 副会長)

亀山 紘美 (名城大学 教授 愛知県バレーボール協会副会長)

10:10～12:00 **シンポジウム** 会場：共通講義棟南

「トップチームのフィジカル・トレーニングー体幹・肩甲帯・股関節を中心にー」

司会：福富恵介 (岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター)

演者：大石 博暁氏(医療法人社団 飛翔会 (株) メディウイング)

橋本 吉登氏 (寒川病院)・有地 省吾氏 ((有)グレイトペッパー)

江藤 直美氏(名城大)・山田 雄太氏 (中京大)

13:00～15:00 **オンコートレクチャー** 会場:体育館

司会：山田 雄太 (中京大学)

講師：大石 博暁氏(医療法人社団 飛翔会 (株) メディウイング)

有地 省吾氏 ((有)グレイトペッパー)

江藤 直美氏(名城大)

対象チーム：東海学連所属校選手

15:00～ **閉会の挨拶**

明石 正和 (日本バレーボール学会 副会長)

2011年7月9日(土)
10:00~15:00 名城大学

日本バレーボール学会
2011バレーボールミーティング

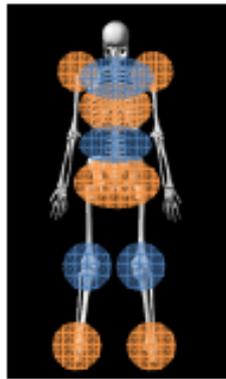
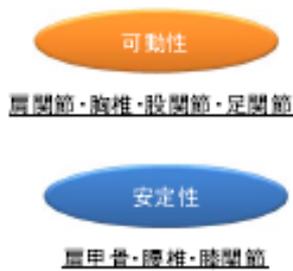
「トップチームのトレーニング」
(体幹・肩甲骨・股関節)

全日本男子バレーボールチーム
フィジカルコーチ 大石博暁

■ 効率の良い動きづくりのための
身体操作の基本



身体活動の基本動作(細部)



By Robb Rogers

身体活動の基本動作(簡略化)

- × 体幹部のStability
- × 股関節のMobility
- × 肩甲骨周辺のStability & Mobility

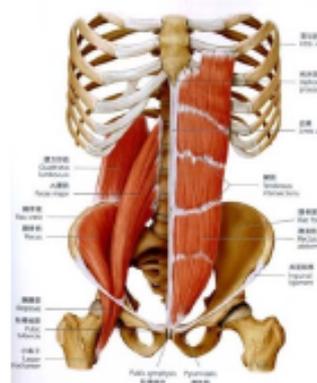


コア(Core)の解釈

- ・ コアとは人間の中心部を意味し、狭義の意味ではインナーユニットといわれる下記の筋を指す



腹直筋と腸腰筋(大・小腰筋、腸骨筋)



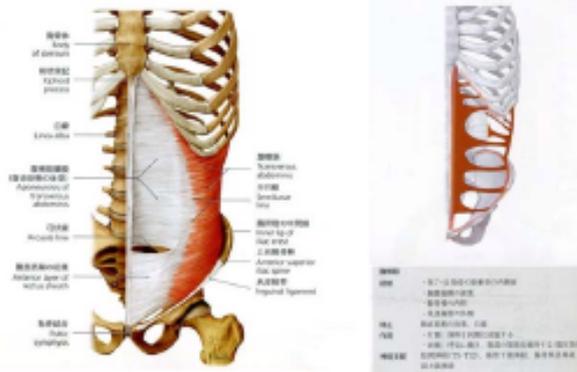
外腹斜筋



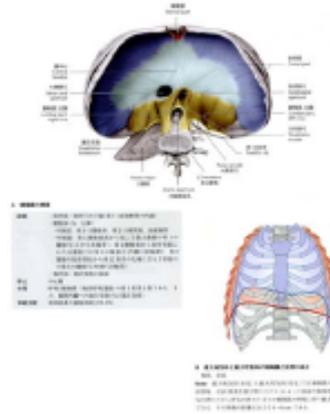
内腹斜筋



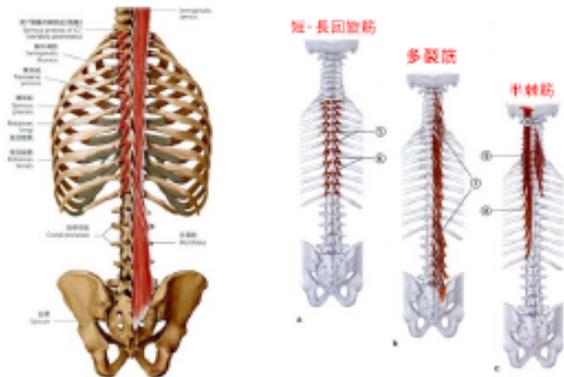
腹横筋



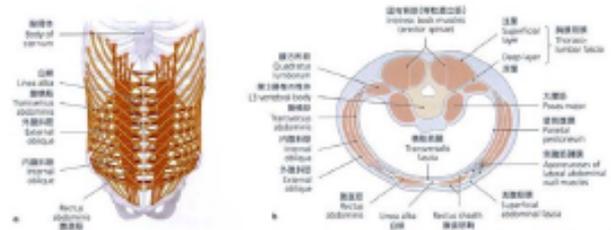
横隔膜



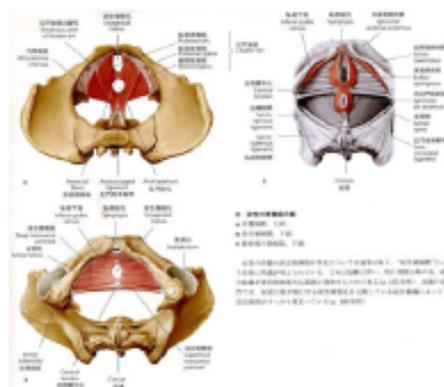
多裂筋



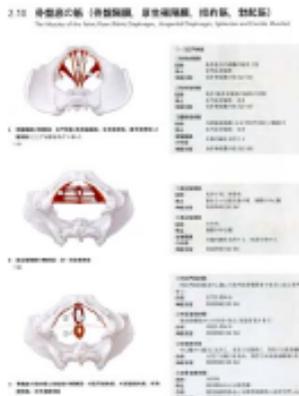
腹壁の筋の配列と第3腰痛の高さの断面図



骨盤底筋群



骨盤底筋群



腹圧 (空圧 VS 筋圧)

- **腹圧とは**
 - 可動性のある体幹部の脊柱の安定性の向上を担う
- **空圧とは (内から外へ)**
 - 力を入れた時に腹部が大きくなる
 - 横隔膜が押し下げられ腹圧が高まる
- **筋圧とは (外から内へ)**
 - 力を入れた時に腹部が縮まる
 - 腹横筋を中心に腹筋群、骨盤底筋群を収縮させ腹圧を意識的に高める

コアストレングス 基礎発展法

以下の条件での体幹(腹筋群)・臀部(股関節
周辺の筋群)・肩(肩関節周辺の筋群)の収縮

I バランスのとれた中での保持

II バランスのとれた中での動き

III アンバランス下での保持

IV アンバランス下での動き

コアストレングス 基礎発展法(例)

I バランスの取れた中での保持



II バランスの取れた中での動き



III アンバランス下での保持



IV アンバランス下での動き



I バランスの取れた中での保持



【V字支持】



【スタビライゼーションエルボットゥ】

II バランスの取れた中での動き



【V字3種】



【サイドブリッジトランクローテーション】

III アンバランス下での保持



【V字支持インBOSU】



【BBアダクションット】

IV アンバランス下での動き



【シングルレッグローテーション】



【+クトロ(スオン)BOSU】

体幹プログラムの発展

レベルⅠから

動作をゆっくり

単純な動作

自体重のみ

ひとつの動きをマスター

臥位から

レベルⅣへ

速い動き

複雑な動作

高負荷へ

次のステップへ

立位へ

立位での体幹トレーニング例



【パワークリーン】

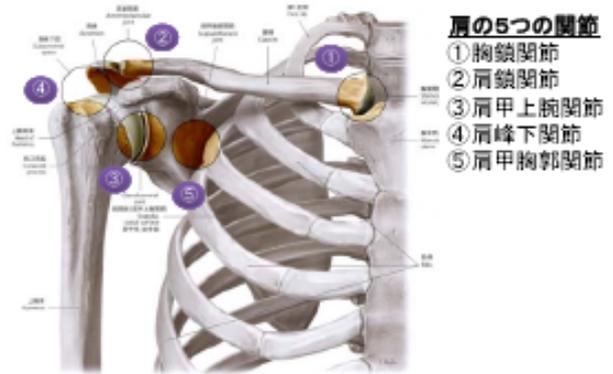


【スタンディングケーブルクラッチ】

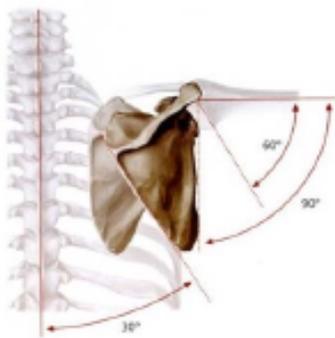
肩甲骨可動域チェック



肩の5つの関節



肩甲上腕リズム



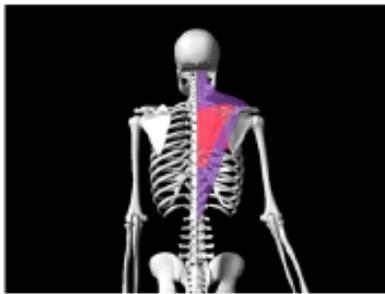
肩甲上腕リズム

腕の外転時、上腕と肩甲骨は2:1の割合で運動する。例えば腕が90°外転したときに肩関節では60°の運動が起こり、その後に付随して肩甲骨が30°の運動をする。この肩甲上腕リズムは、外転時に肩甲骨が自由に運動できることによる。

トップ選手は15個のボールを打てる！？



肩甲骨の内転



主働筋

- 僧帽筋(中部)
- 大菱形筋
- 小菱形筋

補助筋

- 僧帽筋(上部)
- 僧帽筋(下部)

肩甲骨の外転



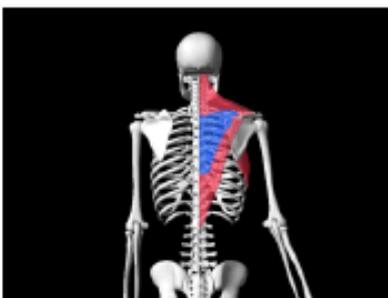
主働筋

- 前鋸筋
- 小胸筋

補助筋

- 特になし

肩甲骨の上方回旋



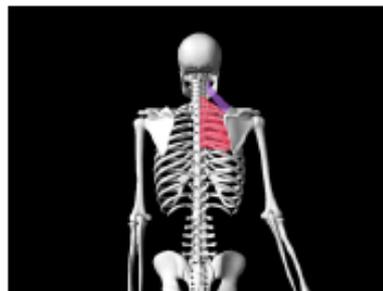
主働筋

- 前鋸筋
- 僧帽筋(上部)
- 僧帽筋(下部)

補助筋

- 特になし

肩甲骨の下方回旋



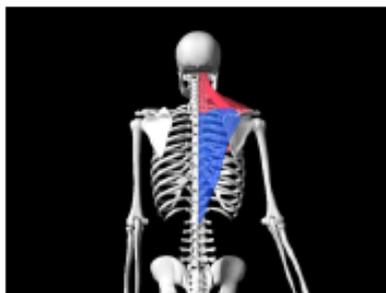
主働筋

- 小胸筋
- 大菱形筋
- 小菱形筋

補助筋

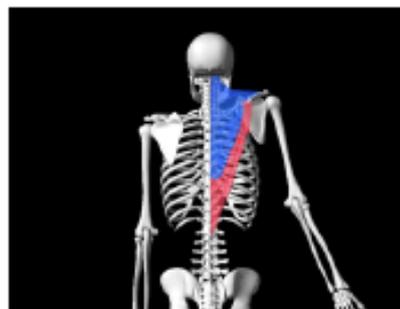
- 肩甲挙筋

肩甲骨の挙上



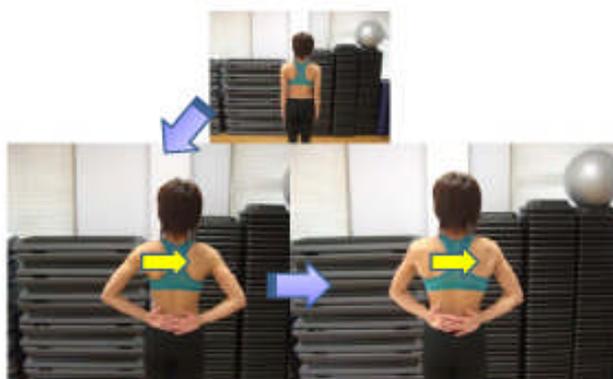
- 主働筋**
- 僧帽筋(上部)
 - 肩甲中挙筋
 - 大菱形筋
 - 小菱形筋
- 補助筋**
- 特になし

肩甲骨の下制



- 主働筋**
- 僧帽筋(下部)
 - 小胸筋
- 補助筋**
- 特になし

肩甲骨の可動域チェック

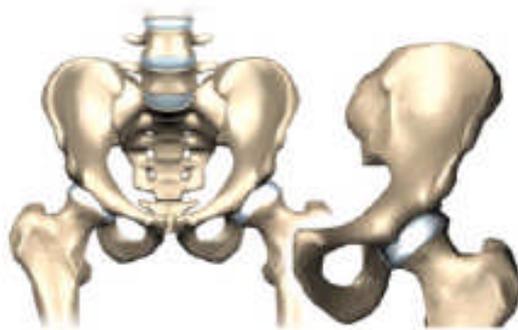


肩甲骨の可動域(外転)チェック



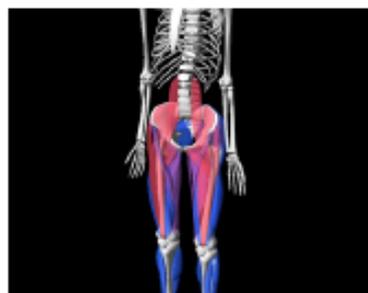
STIFF	NORMAL	GOOD
・ ~4cm	・ 4~7cm	・ 7cm~

股関節【Hip Joint】



股関節の屈曲

【FLEXION AT THE HIP JOINT】



- 主働筋**
- 腸骨筋
 - 大腰筋
 - 大股筋(腹直筋)
 - 大股直筋
 - 腸骨筋
- 補助筋**
- 縫工筋
 - 中股筋
 - 小股筋
 - 薄筋
 - 長内転筋
 - 短内転筋
 - 大内転筋

【屈曲0~125°】

股関節の伸展

【EXTENSION AT THE HIP JOINT】



- 主働筋**
- 大股筋
 - 大腰二頭筋
 - 半腱様筋
 - 半膜様筋
- 補助筋**
- 中股筋
 - 小股筋
 - 大内転筋

【伸展0~15°】

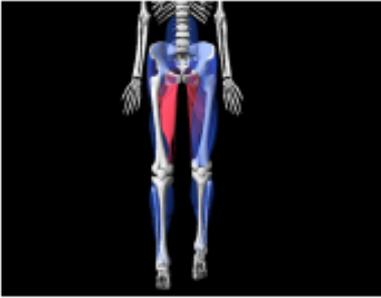
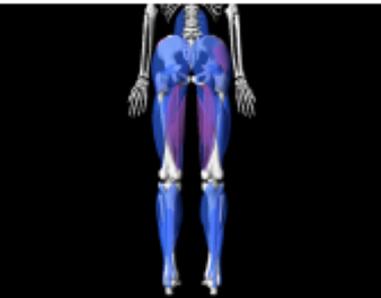
大腿の外転

【ABDUCTION AT THE HIP JOINT】



- 主働筋**
- 中股筋
 - 大股筋(腹直筋)
- 補助筋**
- 縫工筋
 - 大股直筋
 - 大股筋
 - 小股筋

【外転0~45°】

<h3>大腿の内転</h3> <p>【ADDUCTION AT THE HIP JOINT】</p>  <p>主働筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大内転筋 ■長内転筋 ■短内転筋 ■恥骨筋 ■薄筋 <p>補助動筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大殿筋 <p>【内転0～20°】</p>	<h3>大腿の外旋</h3> <p>【LATERAL ROTATION AT THE HIP JOINT】</p>  <p>主働筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大殿筋 ■梨状筋 ■内閉鎖筋 ■外閉鎖筋 ■上双子筋 ■下双子筋 ■大強方形筋 <p>補助動筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ■縫工筋 ■恥骨筋 ■大強二頭筋 ■中殿筋 ■小殿筋 ■長内転筋 ■短内転筋 ■大内転筋 <p>【外旋0～45°】</p>
<h3>大腿の内旋</h3> <p>【MEDIAL ROTATION AT THE HIP JOINT】</p>  <p>主働筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小殿筋 <p>補助動筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ■半腱様筋 ■半膜様筋 ■中殿筋 ■薄筋 ■大内転筋 <p>【内旋0～45°】</p>	<h3>参考資料</h3> <ul style="list-style-type: none"> ◆解体演書『上肢の構造と運動』 『下肢の構造と運動』 株式会社ジースポーツ ◆プロメテウス 解剖学アトラス 医学書院 監訳 坂井建雄 松村謙児 ◆実技 全日本バレーボールチーム



バレーボールにおける体幹と障害

- ・ バレーボールにおける体幹の使い方
- ・ 体幹と腰の障害
- ・ 体幹と肩の障害
- ・ 体幹と下肢の障害

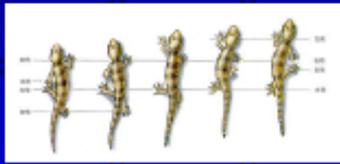
橋本 吉登(寒川病院)

動きの基本は背筋

左右交互に動かす



左右同時に動かす



前後屈

回旋

側屈

体幹の動きは三本の軸回りの回転運動

スパイク時の体幹の動き

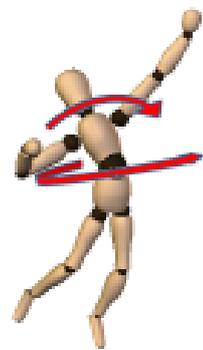


スパイクフォームの違い＝体幹の使い方の違い

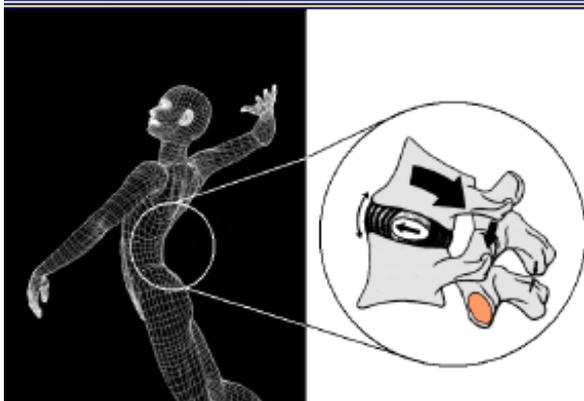


前後屈を中心としたフォーム

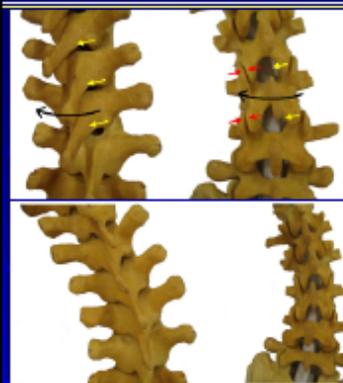
側屈+回旋を使ったフォーム



反りの繰り返しは腰椎へのストレスを生む



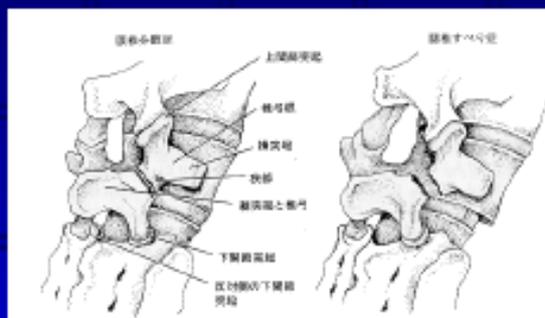
回旋による腰椎へのストレス



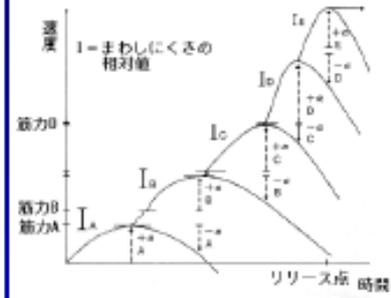
回旋は胸椎(左)では制限が少ないが、腰椎(右)では関節にストレスがかかる

側屈は胸椎、腰椎ともに制限が少ない

腰椎分離症と分離すべり症

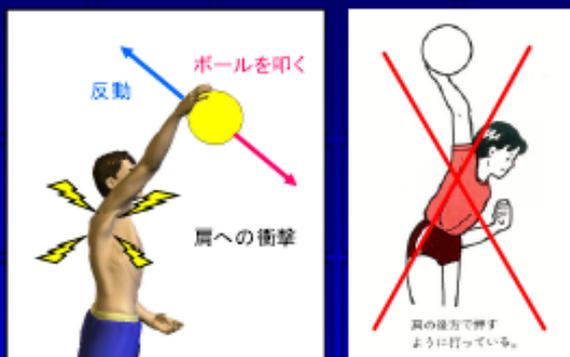


運動の連鎖

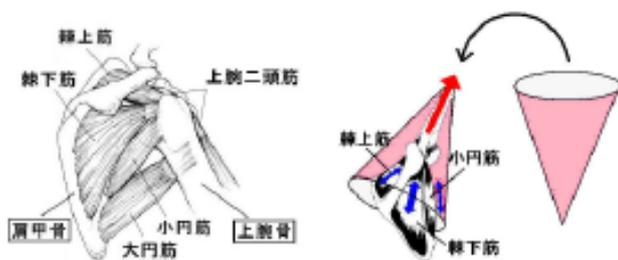


体を連鎖的に使うことで体幹の力が効果的に発揮される

インパクト時の肩への衝撃

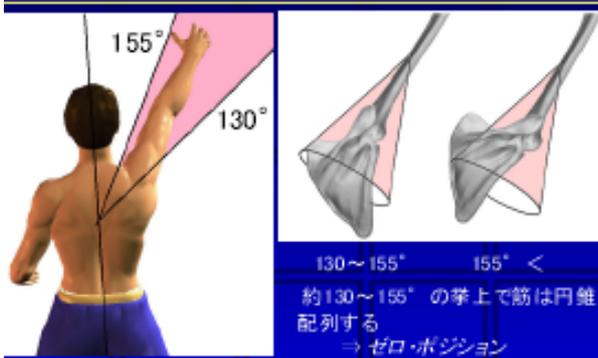


腱板 = インパクト時の肩を安定させる筋群



腱板(ローテーターカフ、インナーマッスル)が肩を安定させる効果は筋肉が「円錐状」に配列した時に発揮される

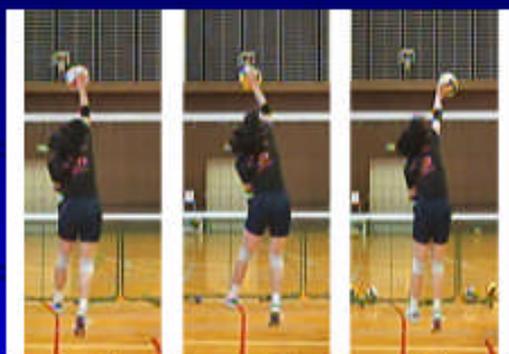
インパクトの至適挙上角



スパイク、ブロックにおけるゼロ・ポジション



コース打ちによる肩挙上角の変化



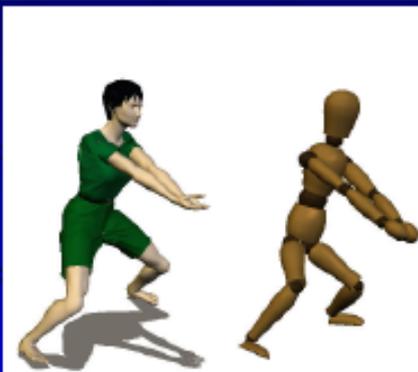
コート左 コート中央 コート右

コース打ちによる肩挙上角の変化

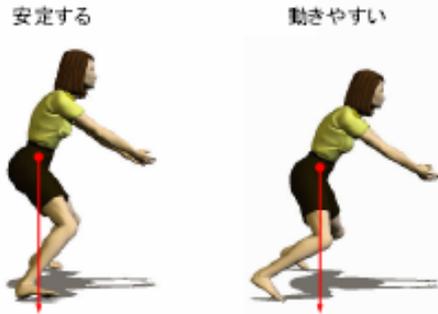
	左	中	右		左	中	右
1	151.7	155.0	148.3	18	150.0	135.0	133.3
2	157.5	138.3	133.3	19	168.3	146.7	146.7
3	146.7	128.3	128.3	20	153.3	140.0	131.7
4	151.7	153.3	148.3	21	153.3	148.3	140.0
5	148.3	140.0	148.3	22	158.3	153.3	153.3
6	163.3	156.7	150.0	23	145.0	146.7	138.3
7	153.3	155.0	155.0	24	156.7	156.7	153.3
8	141.7	140.0	141.7	25	145.0	146.7	148.3
9	161.7	153.3	148.3	26	163.3	163.3	181.7
10	153.3	153.3	151.7	27	150.0	148.3	150.0
11	148.3	138.0	133.3	28	153.3	143.3	136.7
12	146.7	141.7	138.7	29	153.3	140.0	141.7
13	148.3	148.3	148.3	30	153.3	148.3	133.3
14	145.0	180.0	155.0	31	150.0	141.7	138.3
15	158.3	146.7	141.7	32	133.3	130.0	128.7
16	155.0	166.7	168.3	33	140.0	145.0	140.0
17	140.0	180.0	151.7				

■ >155° ■ <130°

構えの基本は股関節から



重心と足の位置との関係



「低く構えろ！」の誤解



Knee-in (膝を入れる)

ニュートラル

膝の障害との関係

膝蓋骨亜脱臼症候群



内股歩行

「おさら」がゆるい

スパイクの踏み切り足



前飛びしないために前の足でブレーキをかける

様々な踏み切り足



接地の違い⇒股関節の回旋の違い



内側

前方

外側



第3中足骨疲労骨折17才男子

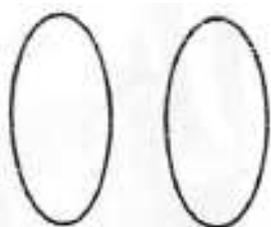


足趾の疲労骨折の発生は踏み切り、着地の時の接地と関わっている

「バランスキッドで、筋肉と関節の連動性を構築し、

ムーブメントチューブで、肩甲骨始動の動作を作る」

有地 省吾氏 ((有)グレイトペッパー)



バランスキッド

理想的な筋肉と関節の連動性を構築する。

基本トレーニング

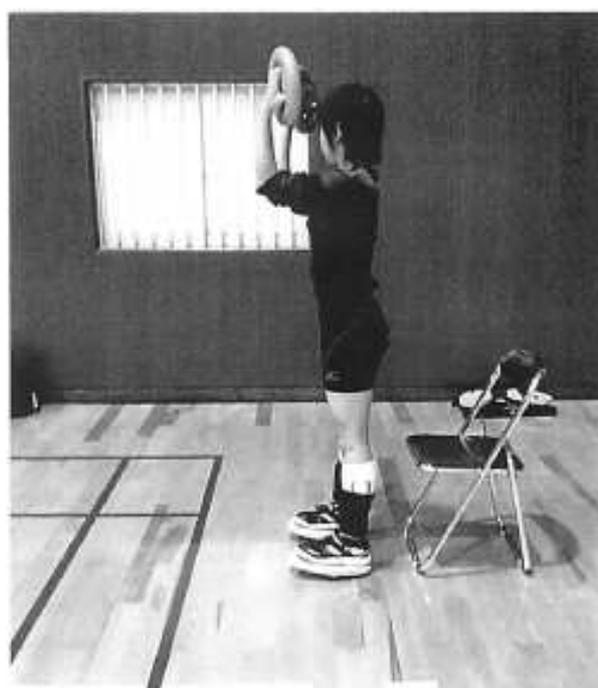
- かかとを引く力で、バランスキッドの上に立ちあがる。



- ◆ 椅子に座り、足下にバランスキッドを置く、バランスキッドに両足を置き、つま先側を床につける。次にかかとを引く様にする、かかと側が床につき、床につくと同時に足首に体重を乗せる様に姿勢良く直立する。

■効果

最も合理的な筋肉と関節の連動動作が作れ、重力に対して強い支えが出来る。それにより膝・腰に負担なく立つことが出来、立つ・歩くなど全身の動き機能が向上する。



肩甲骨の動き作り強化

ムーブメントチューブ

《肩甲骨始動の動作を作る》

腕の動作は手から始動の動作と肩甲骨から始動の動作があります。

もちろん肩甲骨から始動の動作になる必要があります。

★最も画期的な練習方法として

両腕をムーブメントチューブで固定した状態で動作を行なうことにより、自動的に肩甲骨から始動で腕が動くようになり、投げる・打つ・走る、すべての動作が改善できます。

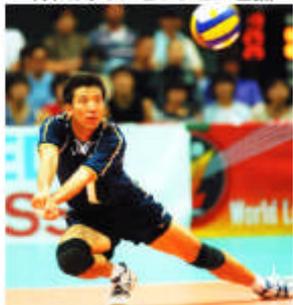
※ムーブメントチューブの巻き方の説明は別紙です。

☆肩骨始動の動き作りの必要性

人間の運動神経は部位的に手が最も優れており、体の中心に向かう肩甲骨の回りは感覚的に鈍く作られているため、手の筋肉から力を入れた動作『手打ち、手投げ』を行なってしまいます。このムーブメントチューブを使うことで肩甲骨から→腕→手と動く理想的な動作を作り出します。

レセプション動作

—青山氏のレセプション理論—



山田雄太(中京大学)

基本的な構え

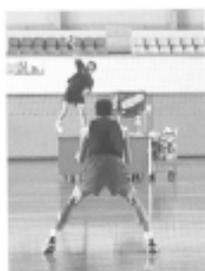
足を肩幅より少し広めに開いて、リラックスして構える。



構えの時の目線

ネットのアンダーロープに目線を合わせる。

移動するときもこの目の高さを維持し、身体が上下に動かないようにする。



写真：目線とネットのアンダーロープに合わせる

腋を開ける

腋を開ける(肩関節屈曲)

↓
視野に腕の面が入る。

腋が開けること

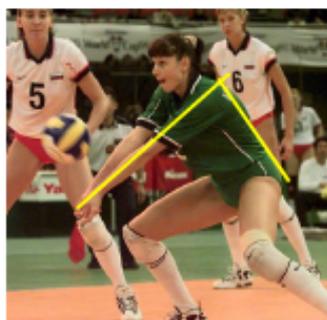
↓
速いサーブの勢いを弱めることができる。



腕の構えのポイント

特に初心者の場合

腕は床と平行にするくらいの気持ちでレシーブ



面を作るタイミング

サーブのボールがネットを越えるあたりでその後のボールの軌道を予測し、手を組み面を作る。

タイミングが早すぎると、足が止まってしまう。

タイミングが遅すぎると面を作ることが難しくなる。



肩甲骨を横に広げる。

肩甲骨を横に広げる(肩甲骨の外転)ことで微調整がしやすくなる。

肩甲骨をすぼめる(挙上)と微調整がしにくい。



足幅を広くし、重心移動を用いる

- 股関節を柔軟にして足幅を広くすることで、様々なボールの変化に対応する。

- 弱いサーブの場合は重心移動でボールを運ぶ。



視野の中にボール、腕の面、セッターを入れる。

ボールが腕に当たるときには、ボールを周辺視野で捉える。

そのとき、視野の中にボール、腕の面、セッターが視野の中に入っている。



肘をのばす

レシーブする瞬間に、手首を下に落とす(尺屈)。

↓
肘がのびる。



目線と身体の動き

最後までボールを見ようとして、あごを引いてしまうと肘をのばしにくくなる。

逆にあごがあがってしまうと、視界のなかにボール、腕の面を入れることができない。



身体の外側でレシーブする場合

重心が基底面から外れても軸をふらさず、ヘソの前でレシーブする。



ブロック動作の注意点

江藤直美(名城大学)



動き前の立ち位置

- 腕を軽く曲げてネットに届く距離。
↑
ブロックを構える時に常に確認。



構えのポイント

- 脚は肩幅より少し広め。
- 股関節を少し後ろに引き、膝が爪先より前に出ないこと。
- 腕はハンズアップ、ネットに近付きすぎないためにも、常に体の前に。



早く動き出すための工夫

- 動き出しやすいよう軽く曲げ柔らかく構える。
- 左右への移動時は、脚から踏み出す！
進行方向と逆の股関節の上あたりを押されて、その慣性の力で？...
- 重心の移動を上手く使うことによって動きだしをスムーズに、かつスピードが出る。



移動時のステップ&腰の向きの意識点

- (女子では)サイドへの移動で、歩幅が足りず間が空いてしまうことが多い。
→小さく速いサイドステップ→3歩助走。
- 最初の1歩を速く。
- 腰の向きは、なるべく正面。
- 斜めになってしまうことは仕方ないが、真横を向いてしまうとブロックの完成も遅くなり、無駄な動きになる。



ジャンプ時のステップ&腰・肩の向きの意識点

- サイドへ移動した際のブロックジャンプは、移動したスピードが速いほど流れやすい。
↓
- ステップ最後の外側の脚でしっかりと流れを止め、爪先の向きがなるべく正面へ向くよう意識する。



ジャンプ時のステップ&腰・肩の向きの意識点

- 速攻に対して(特にリード)は両足でしゃがみこんでジャンプするのではなく、片足で素早く踏み切るほうがワンタッチがとりやすい。
- 個人的には、股関節の曲げ伸ばし!?と裏側の臀部やハムストリングを使っている意識。



ネット上で手を出す時のポイント&肩甲骨の動き

- 腕は常にハンズアップの位置から。
- 速攻はそこから素早く前に(最短距離)出す。肘をしっかりと伸ばす。
- 移動する場合は、肘を曲げたまま助走をする。その時常に体の前に手をおく。

ネット上で手を出す時のポイント&肩甲骨の動き

- 一般的にブロックをしめるといって、指や肘に力をいれると言われる。



肩甲骨から前を出す。
肩甲骨の出し入れ、
左右別々にしっかり
使う



現役時代のトレーニング。

- (JT時代)
股関節と肩甲骨の動き、体幹バランスがバレーでは重要
↓
 - 主に可動域を広げるトレーニング
 - 体の背面のトレーニング
 - 柔らかく使えるためのトレーニング (専用マシン&ストレッチ)
- 上記3つのトレーニングはブロックの強化に不可欠。



日本バレーボール学会 役員 (2009-2011 年度)

会 長：遠藤俊郎 (大東文化大学)
副会長：柏森康雄 (大阪体育大学)・明石正和 (城西大学)
理事長：河合学 (静岡大学)
監 事：島津大宣 (日本女子大学)・森田昭子 (東京女子体育大学)
理 事：石手 靖 (慶應義塾大学) 小川 宏 (福島大学)
勝本 真 (茨城大学) 亀ヶ谷純一 (明治学院大学)
黒川貞生 (明治学院大学) 黒後 洋 (宇都宮大学)
後藤浩史 (愛知産業大学) 小林宣彦 (都立小川高校)
篠村朋樹 (木更津工業高等専門学校) 鈴木陽一 (早稲田大学高等学院)
高橋宏文 (東京学芸大学) 田中博史 (大東文化大学)
藤島みち (夙川学院短期大学) 鳥羽賢二 (びわこ成蹊スポーツ大学)
中西康巳 (筑波大学) 成田明彦 (東海大学)
廣 紀江 (学習院大学) 都澤凡夫 (筑波大学)
吉田清司 (専修大学) 川田公仁 (つくば国際大学)
橋本吉登 (寒川病院) 古沢久雄 (鹿屋体育大学)
松井泰二 (東京工科大学) 渡辺理津子 (つくばウエルネスリサーチ)



2011 バレーボールミーティング実行委員会

実行委員長：後藤浩史 (愛知産業大学)
副委員長：金子美由紀 (名城大学)・松井泰二 (東京工科大学)
庶務：後藤浩史 (愛知産業大学)・田中博史 (大東文化大学)・植田和次 (愛知学院大学)
会場：金子美由紀 (名城大学)
受付・会計：江藤直美 (名城大学)・廣 紀江 (学習院大学)
司会・進行：高梨泰彦 (中京大学)、山田雄太 (中京大学)
記録・編集：福富恵介 (岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター)・小川 宏 (福島大学)
渉外：石手 靖 (慶應義塾大学)
委員：石垣尚男 (愛知工業大学)、川岸與志男 (岐阜大学)、神田翔太(愛知学院大学)
協力：名城大学男子バレーボール部